HP『海軍砲術学校』公開史料

第四節　其他ノ艤装施設

驅逐艦ノ性能向上ニ資セル其ノ他ノ艤装兵装施設ノ改善進歩ニ就テハ述ブベキモノ元ヨリ少ナカラザルモ之等ハ概シテ多年ノ實驗研究ノ結晶ニ屬シ時ニハ遠ク三十七、八年戰役前ニ萠芽セルモノ亦尠ナカラズ而カモ爾後ニ於ケル兵術思想及技術的考察等ノ異動ガ却ッテ往時ニ復古セルガ如キ奇現象ニ接セルコト無キニアラズ彼驅逐艦ニ於ケル探照燈装備位置ノ幾變轉セルガ如キ之ガ適例ナリ本節ニ於テハ之等ノ主要ナルモノニ就キ水雷術關係事項及水雷艦艇ノ活動ニ關係アル諸問題ヲ略記追補スルコトトセリ

一、驅逐艦動搖試驗ト「ビルヂキール」ノ装着

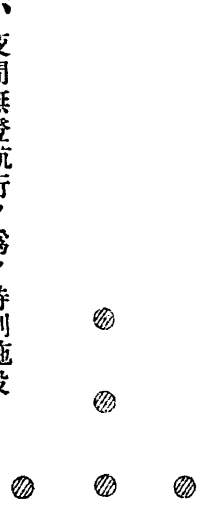
明治三十八年四月聯合艦隊ニ於テ所屬各種驅逐艦十四隻ヲ使用シ對馬水道ニ於テ驅逐艦(當時ハ全部三等驅逐艦ノミ)ノ動搖比較實驗ヲ爲セシガ其ノ結果先ニ其ノ艦底中央部ニ試驗的ニ「ビルヂキール」ヲ装着セル雷ハ動搖最モ少ク砲装優秀ナル吹雪(側砲トシテ短三吋砲ヲ有ス吹雪以前ノモノハ五十七粍砲ナリ)ハ最大ニシテ「ビルヂキール」ノ價値ヲ實證シ新驅逐艦有明ヨリ之ヲ装着シ漸次既成驅逐艦ニモ及ボシ今日ニ至レリ

二、艦尾警戒信號燈

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

艦尾警戒信號燈ハ艦尾速力及舵柄信號燈ナル名稱ノ下ニ明治三十四年常備艦隊司令長官上申ニ基キ假設セルモノナルガ三十七、八年戰役直前ニ正式ニ裝備セルモノニシテ當初ハ五燈ナリシガ爾後其ノ縦線上部ニ一燈ヲ增シ（大正二年ヨリ試檢シ大正四年採用）六個トセリ左ノ如シ



三、夜間無燈航行ノ爲ノ特別施設

明治四十二年前後ニ於テ驅逐隊艇隊ニ於テ其ノ艦(艇)尾ニ下向キノ一種ノ電燈ヲ點シ其ノ艦(艇)尾波ヲ照ラシ後續諸艦(艇)ノ目標ニ供スルノ趣向ニシテ大正初期ニ亘リ一部ノ驅逐隊艇隊ニ稱用セラレタリシガ兵器トシテ採用セラルルニ至ラズ單ニ艦尾燈ニ簡單ナル加工ヲ爲セル程度ノモノナリ

四、大正十年度起工ノ驅逐艦ヨリ操舵ノ際ノ艦傾斜ヲ減ズル目的ヲ以テ艦幅ヲ增セリ又十年度以降ノ二等驅逐艦ニハ內火式發電機ヲ備フルコトトセリ野風級以下ノ一等驅逐艦ハ三番砲ヲ後部ニ移シ四番砲ノ直前ニ置キ彈藥供給ノ不便ヲ除ケリ

六、十一年度開會ノ驅逐艦研究會意見及南洋巡航ノ經驗ニ依リ十二年度建造ノ一等驅逐艦ニ於テハ各科ノ倉庫ヲ縮小シ其ノ餘積ヲ重油槽、清水槽、釣床格納所等ニ充テ以テ兵員室ヲ廣クスルコトトシ罐室通風口ハ波浪ノ侵入ヲ極力減ズル方針ニテ改良シ又船體前部ノ形狀モ波浪ノ跳躍ヲ防止

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

スル樣計劃セリ十一年度建造中ノ一等驅逐艦ニ對シテモ上記ノ一部ヲ應用改善セリ

六、昭和二年各方面ノ用兵者及技術者ノ意見ヲ綜合シ驅逐艦船體部艤裝規程及船體艤裝品制式圖ヲ完成シ驅逐艦ニ關スル將來ノ基準ヲ定メ吹雪型以後ハ之ニ依ルコトトセリ(第二節別紙第二參照)

七、昭和三年度ニ於テ荒天高速力航行中ノ耐波性ヲ改善スル爲新大驅逐艦(吹雪)ヨリ外舷形狀艦首部ノ强度罐室通風路等ニ根本的改善ヲ爲セリ

八、同年既成艦ニ對シテハ昭和二年大演習ニ鑑ミ艦首樓甲板ノ補强、艦橋硝子窓ノ補强等ヲ逐次實施スルコトトセリ

(參考)昭和二年海軍大演習中荒天怒濤ノ爲驅逐艦數隻ニ於テ前部兵員室內支柱ノ折損又ハ屈折シ艦首樓甲板ノ一部彎曲陷凹セルモノアリ一等驅逐艦夕月ニ於テ其ノ被害大ナリキ

九、吹雪級驅逐艦ハ昭和三年十一月吳軍港ニ於ケル既成驅逐艦比較研究會ニ依リ詳細ニ亙リ改良事故ヲ調査シ得タリシヲ以テ之ヲ今後ニ應用スルコトトセリ又罐室風路形狀ニ根本的改良ヲ加ヘ多年懸案ノ波浪ノ罐室侵入ヲ完全ニ防止シ得ルコトトナレリ

十、水中聽音器ノ裝備及撤去

本件ハ水雷術ト特種ノ關係無キモ驅逐艦ノ潛水艦攻擊任務遂行上ノ必要ニ基キ大正十二年頃ヨリ新式驅逐艦ニ裝備(O.V式)セラレシモ實用上ノ價値ニ乏シク大ニ改善ノ餘地アルヲ認メ昭和四年初

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

頭一ト先ヅ之ヲ撤去セリ

十一、昭和四年八月艦隊技術會議ニ於テ驅逐艦見張施設ニ關シ具體的提案アリシガ當局ニテハ更ニ研究ノ上實現ヲ期スルコトトセリ内容別紙第一ノ如シ

別紙第一

驅逐艦見張裝置ニ關スル艦隊側提案要望（昭和四年九月）

驅逐艦ノ夜戦見張ハ其ノ任務達成上最モ重要視スベキモノニシテ之ガ現施設ノ改善竝ニ艤裝計劃ニ一段ノ考慮ヲ要スベキモノトス

左ニ提案ス

一、見張所

見張所區分　施設

(一) 橋楼　無風「トランク」型トシ風波ヲ防止シ得ル如クス

見張員一、使用眼鏡八糎

(二) 砲火指揮所　指揮所前方ヲ擴大シ防風波裝置ヲ裝備シ十二糎眼鏡一臺ヲ配ス

但シ場所ノ狀況之ヲ許セバ二臺トス

(三) 羅針艦橋　艦橋兩側ニ二個裝備ス裝備位置ニハ防風波裝置ヲ設ク十二糎二又ハ一、八糎二、八糎ハ水雷長用ヲ兼ヌ

（備考）主トシテ特型驅逐艦ニ對シテノ案ニシテ一等及二等ハ適宜之ヲ取捨ス

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

二、施設ニ關スル事項

(一) 羅針艦橋ト各見張所トノ通信連絡ヲ完備ス

(二) 眼鏡ノ取附ハ振動ヲ防止スル如クス

(三) 眼鏡ニハ左記防水裝置ヲ設クルヲ要ス

對物鏡ニ紋式ノモノ、接眼鏡ニハ「シヤッター」式ノモノ

(四) 見張ハ最モ安易ナル姿勢ニテ行ヒ得ル如キ裝置タルヲ要ス

(五) 眼鏡臺ニハ角度鈑照明裝置ヲ設クルコト

(六) 眼鏡ノ格納所ノ設置

右ニ對シ艦政本部側ノ所見

從來驅逐艦及潛水艦ニ在リテハ特ニ見張設備ト稱スルモノ無カリキ之レ見張施設ハ一部一課ノ所掌ニシテ同課トシテハ大艦ノ要求ニ追ハレ驅逐艦等ニ及バザリシ結果ナリ

本年二月驅逐艦及潛水艦見張設備ハ一部二課所掌トナリ準備ニ着手セリ御意見ハ今後艦裝上ノ參考ト致度尚

(一) 無風「トランク」ハ奥行深キ關係上八糎望遠鏡ヲ裝置スル場合ハ視界縮小セン尚檣樓ハ振動多キヲ以テ可及的振動防止施設ヲ施スト共ニ眼鏡ノ裝備方法ニ關シテモ極力研究センモ止ムヲ得ザル場合ハ小型ヲ供給スルノ外ナシ

(二) 砲火指揮所ニハ十二糎二臺裝備ノ豫定

(三) 羅針艦橋ニハ十二糎ノ裝備ハ左記理由ニ依リ困難ナランモ尚研究セン卽チ八糎ノ二倍ノ經費ヲ要スル十二糎ノ製造困難ナルコト艦橋ノ强度上十二糎ノ裝備困難ナルコト

http://navgunschl.sakura.ne.jp/